



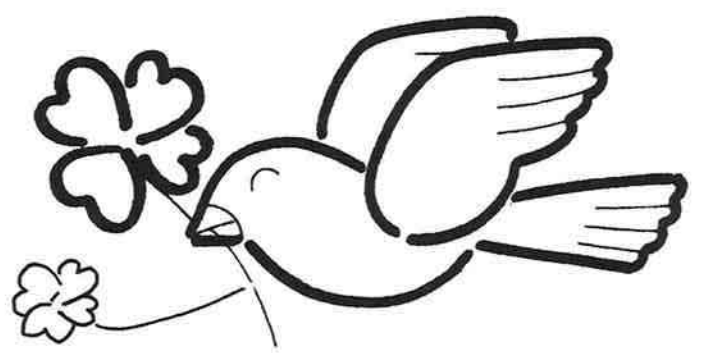
No. 3
2007年12月20日

発行所：社会福祉法人しんじゅ
発行人：宮脇 テル子

本部事務所 821-1533 7657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22
東部生活・作業支援センター 821-1586 7657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22
ゆめの分室 578-3539 7652-0041 神戸市兵庫区湊川町8-4-10
たおじ分室 987-2532 7651-1312 神戸市北区有野町有野字白原3689
西部生活・作業支援センター 782-9675 7655-0006 神戸市垂水区本多町7-2-3
明芳分室 735-8835 7654-0024 神戸市須磨区大田町6-4-4
福祉の店“いたやど” 733-2477 7654-0022 神戸市須磨区大黒町2-2-12

社会福祉法人「しんじゅ」の理念

1. 愛情を持って、ふれあい、共生の中で人間性豊かな人生を築こう
2. 安全で、安心して生活できる場を実現しよう
3. 自由で尊厳をもって、人生を全うしよう



支え、支えられて…

理事長 宮脇テル子

社会福祉法人しんじゅになり、バザーはできるのかかと心配しましたが、不随収入の部で可能であることが分かり、本年も例年のように盛大に開催することができましたこと、心よりうれしく思っています。神戸市幼・小・中・高のPTAや保護者の皆様、一般市民の方々の協力のおかげと厚くお礼申し上げます。この収益はすべて次なる事業のためにプールされ、有意義に使わせていただく予定になっています。例年もそうでありますように今年も多くボランティアさんにご協力をお願いしました。出品・集荷・値付け・梱包・販売・搬入搬出まで、ボランティアの助けがなく、会員だけではとうていできないことは周知の事実であります。お手伝いいただいた方々に心より感謝申し上げますとともに今後ともご指導・ご支援をいただきますようお願い申し上げます。社会福祉法人に認可され一年目を迎えています。おかげさまで福祉事業・公益事業とも順調に運営でき、法人全体としては次の段階に向け、明るい見通しが立ったことを感謝をもつて報告いたします。「親亡き後、障がいある方々が、どのように生活していくのか」を模索して三十六年が経ちました。その間制度が変わり社会が変わり親も変わってききました。しかし、身体障がい者というくくりの中では、視覚障がい、内部疾患、肢体不自由などが一括りになっていることは変わっていません。養護学校卒業生のほとんどが、周産期（産前産後6週間内）に何らかの原因で生まれたときから障がいがある方たちで、重度重複の障がいがある方が多く、右記のような障がいと同じ括りに入るには無理があるように思われます。何か特別の支援制度が必要ではないかと思われ、彼らたちの代弁をしていく必要に迫られているのではないのでしょうか。

障害者自立支援法の

見直しに対する意見

兵庫県肢体不自由児者父母の会連合会を通し社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会へ下記の意見を提出し、厚生労働省に要望していただくことになっています。

所得保障関連として2項目、就労問題として3項目、一般事項として5項目、具体例として3項目の他合わせて17項目ですが下記の項目を追加としてお願いしました。

- ◆ 身体障害者の自立を推進するため、グループホーム、ケアホームの創設を可能にして欲しい。
- ◆ 身体障害者として視覚障害・内部疾患・肢体不自由が一括りにされているが、それぞれが必要とする支援内容は大幅に異なっている。障害特性を理解いただき施策立案をお願いしたい。特に生まれながらの重度障害に配慮いただきたい。
- ◆ 福祉事業施設などで生活支援員が安心して医療的ケアが行えるよう（家庭で保護者が日常生活介護行為として行っている範囲）制度（含法改正）の整備を早急に図られたい。
- ◆ 多様化する重度障害児者の短期入所の拡充・強化を図られたい。

社会福祉法人しんじゅが創立一周年を迎えるにあたり下記のように記念会を計画しました。各事業所が中心になり計画しています。また12:00より13:00まで全職員を対象として研修を行う予定です。

研修講師 岩田 泰夫

（神戸女学院大学文学部総合文化学科 教授）

演題 「人との接し方 コミュニケーション」

記念会

日時 平成20年1月20日(日) 午後1:30～

場所 神戸ポートピアホテル本館 地階一階生田の間

078-211-1111

会費 7,000円

出席ご希望の方は事務局まで。821-1533 事務 平川まで



しんじゅ福祉バザーの収支報告をいたします。ありがとうございました。

バザー収支決算

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
1日目売り上げ	1,391,307	会場使用料	362,250
2日目売り上げ	901,867	会場設営費	564,900
会場募金	9,300	消耗品費	12,093
委託・販売より	255,477	通信運搬	32,320
寄付金	585,764	材料費	19,205
		燃料代	29,368
		旅費交通費	12,460
		雑費	170,284
		手数料	1,470
計	3,143,715		1,204,350

差引収益 ¥1,939,365

感謝

平成十九年八月より十一月までに次の方々より尊いご寄付をいただきました。
室之園健治・里子 小野治子
木村郁子 社会保険労務士事務所
その他バザー関係として多くの方々より頂戴しています。
(別紙参照)

(友生養護学校昭和五十八年度卒)

Memberの声⑤

「訓練は人生の友達」

衣笠 誠

五十八年度に卒業して友生養護学校での訓練に参加していました。その内同級生がやめてしまい、受け持ってくださった先生もこれなくなり、新しい先生には面識が無く参加しても訓練をしてもらえなくなりましたので、だんだんと遠のいてしまいました。在学中に訓練キャンプに参加しそこで会得した訓練を自分なりにしてきました。そのうち緊張がきつくなり、出ていたことができなくなり、清水先生に相談した結果、再び友生養護学校での訓練教室に参加しました。訓練することによって緩めたり、力を入れたりすることが分かり、緊張が取れてできることが多くなりました。訓練の喜びを知って訓練が何よりも（食べることも、遊ぶことよりも）大好きになり、今では訓練キャンプがあればどこでも参加しています。現在は先生方の知識も豊富で一生懸命にいただけているので帰宅後は身体が動きやすくなりました。次の訓練教室が待ちどおしいです。